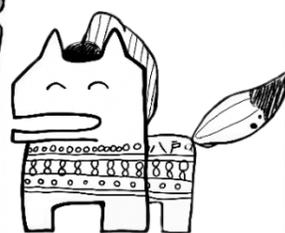
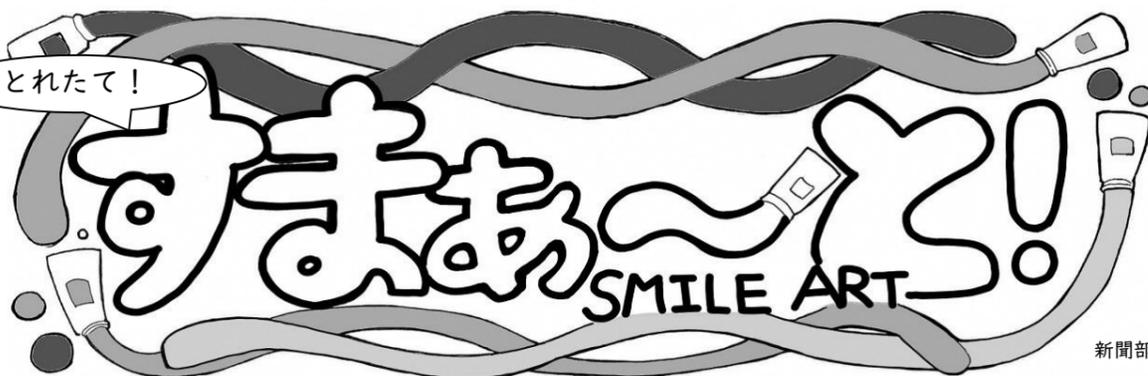


とれたて!



新聞部キャラクター「すまうまくん」

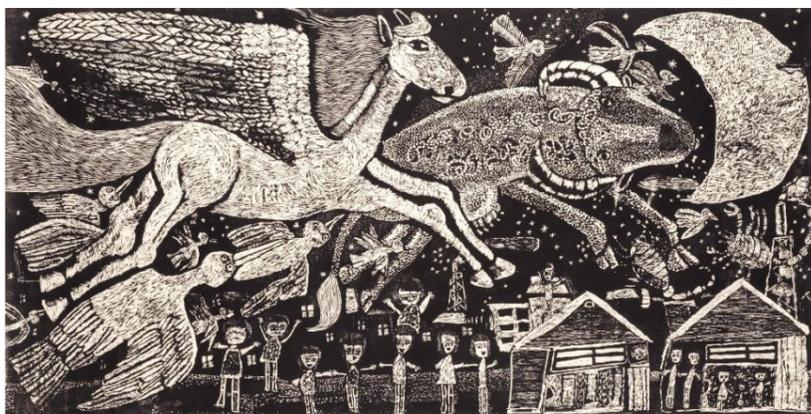
# 「風の中を飛ぶ種子 青森の教育版画」

(令和6年10月12日～令和7年1月13日)

## 《星空をペガサスと牛が飛んでいく》『虹の上をとぶ船 総集編II』

はちのへしりつみなとちゅうがっこう ようごがっきゅう せいと さく 八戸市立湊中学校養護学級生徒作 1976、八戸市美術館蔵

右の作品は、あの有名な宮崎駿監督の映画『魔法の宅急便』の劇中画のモデルとして知られています。私たちの身のまわりには、実はさまざまなところに版画があります。特に青森県では、小学校の頃から版画にふれる機会があります。それは今純三をはじめとする青森の版画家たちが広め、さらに教師でもある大田耕士が中心となった「教育版画運動」の影響で、全国にも広がっていきました。

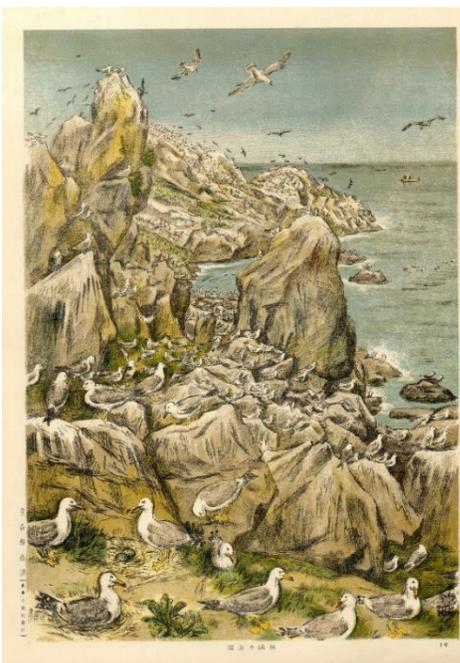


## 《蕪島の海猫》『青森県画譜第2集』

今純三 作 1933、青森県立郷土館蔵

次に、私たち美術館新聞部お気に入りの版画作品をご紹介します。八戸に住む私たちにとって身近な蕪嶋神社とウミネコが、細かいところまで美しく表現されています。

今純三は、青森の自然や暮らしをテーマにたくさんの作品を制作し、青森を代表する版画家として知られています。みなさんもぜひ版画作品の繊細な美しさをじっくり感じてみてください!  
(田端祐大、蛭名 椿)



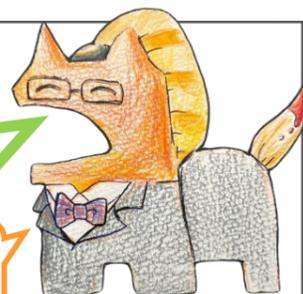
## 《次回の企画展》

「浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化」

2025年4月19日(土)～6月15日(日)

# Youは何しに美術館へ?

Why did you come to the Hachinohe Art Museum?



インタビューー 大久喜小学校 5年 副島 美桜  
6年 岩崎 聖

今年の抱負を書き初めたよ!



## 台湾から来た

You キキさん

金

日本の会社で働いている彼の付き添いで来たそうです。近くのホテルに泊まっていて、美術館を訪れたのは去年と今年で2回目だそうです。

## 親子で来た

You 馬内さん親子



前回、祖母ときた時、子供がホワイトボードに楽しく絵を描いていたのでまた来たそうです。木のおもちゃが楽しかったので子供が遊べる場所を増やしてほしいという要望がありました。文字は「クラゲ」で、意味は、クラゲの気分だったそうです。

## 書道2段の

You 畑中さん

挑

版画が好きで展覧会を見に来ていました。2年前に違う企画展を見に来たことがあるそうです。お仕事が休みで、東京から下北に帰省して美術館に来るのがルーティンだそうです。「挑」の意味は、新しいチャレンジをしていきたいからだそうです。

## 美術館設計者の

You 西澤さん

外

スイスに住んでいる建築家の貝島桃代さんを案内するために来ていました。今までの展覧会は全て見に来ているそうです。「外」は、去年はアイデアを溜め込んでまとめることが多かったため、今年は外にいろんな情報を発信していきたいと思ったそうです。

## 1年ぶりに

再会した

大学生のYou

楽拳

別々の大学に入っている大学生2人組です。所属しているサークルに関する一文字を書きました。八戸市美術館へ来たのは初めてなのだそうです。大学生になってから美術館や博物館へ行き地域のつながりについて学んでいるそうです。

(インタビューサポート: 佐々木美緒、石藤愛菜、山野下心愛、川村有葉)

## 夫婦でデートにきた

You 高橋さん夫妻

流健

美術館に来るのは初めてで、ホワイトボードで絵を描いたりしていました。今年の一文字は、旦那さんの「流」には流れるように生きていく、奥さんの「健」には健康に生きるという意味が込められているそうです。



# 八戸彩画堂 SAIGADO さんに お邪魔しました!

住所：八戸市城下1丁目2-10  
1階は画材売り場、2階はギャラリーとカフェがあります。

## 買ったもののレビュー!

### チューブしぼり

★★★★★

残り少ない絵の具を出すときのイライラが軽減。間にはさんで巻くだけで簡単に使えて良い!



### 筆

★★★★★

描きごちがなめらかで描きやすく、筆が硬めなので先が整いやすい!



## 顔彩 (固形絵の具)

★★★★★

墨と分離色の2つを買いました。墨は思ったより発色がよく、濃淡が出しやすい! 分離色は簡単にグラデーションができて楽しい!



## 八戸美風景展・ミニ額装展 見学

油絵、水彩画、アーティスト八幡馬など  
たくさんの素敵な作品がありました。  
部員のみならず、見学の  
絵のアイデアをもらうことができました。



副店長の松田恭平さんです

## インタビューしました

- Q. おすすめの画材は何ですか。  
A. お客様がほしいものに合った画材を紹介しています。
- Q. めずらしい画材はありますか。  
A. 扇の形をした筆や、変わった形のペインティングナイフなど、おもしろい画材があります。
- Q. 絵を描くのに慣れていない人は、どんな画材から始めるといいですか?  
A. 水だけで描けるものや、後かたづけが簡単なものなど、ライフスタイルに合わせた画材をおすすめしています。
- Q. 商品の仕入れにこだわりはありますか。  
A. 見ていて楽しいものや、手にとりやすい価格のものです。材料の良さや、どれくらいめずらしいかをよく見てから仕入れています。
- Q. 普段は絵を描きますか。  
A. 絵は描きません。自分の考えにとらわれず、お客様の気持ちになって画材を選ぶためです。お客様が作品に使う色や道具を見て、仕入れのヒントにしています。

(赤井亜子、古内瑞姫)

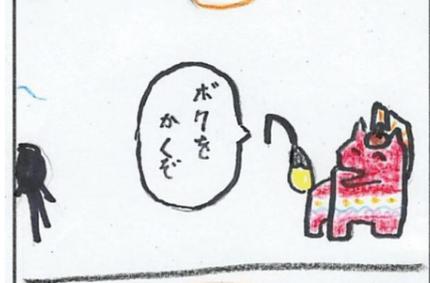
## 《編集後記》

今回の新聞では『装飾』をぜひ見てほしいです。彩画堂さんのコーナーは担当の2人が手描きで枠やタイトル、花や鳥などの装飾を描きました! 手描きでしか味わえない温かみのある記事になっているのでぜひ! そこにも注目してみてください。

新聞の中にたくさんいる「すまうまくん」もメンバーみんなで描きました。同じ柄のすまうまくんを見つけてみてね!

次号もお楽しみに!  
(編集長: 八戸工業高校 佐々木 美緒)

そ。くり...? な  
すまうまくん  
大久喜小学校 6年 岩崎 聖



リビングスペースへ  
すまうまくん  
大久喜小学校 6年 高橋 乃愛

